



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

令和5年度

教育コース履修者募集要項

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科

富山大学大学院医学薬学教育部

福井大学大学院医学系研究科

金沢医科大学大学院医学研究科



金沢大学



富山大学



福井大学



金沢医科大学

目 次

・ 教育コース履修者の募集について	1
・ 北陸認知症プロフェッショナル医養成プランについて	2
・ 教育コースの概要	
○認知症チーム医療リーダー養成コース(本科コース)	
金沢大学	3
富山大学	4
福井大学	5
金沢医科大学	6
○地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)	
金沢大学	7
富山大学	8
福井大学	9
金沢医科大学	10
○認知症・神経難病の臨床病理研修コース(スペシャル)	
金沢大学	11
○地域フィールド認知症早期発見・予防・ケア研修コース(スペシャル)	
金沢大学	12
○認知症スーパープロフェッショナル養成のための	
卒前・卒後一貫教育コース(スーパーコース)	
金沢大学	13

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）
教育コース履修者の募集について

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）は、超高齢社会を背景に認知症の分野で特に高度な知識・技術を有する医師が求められていることから、ハイレベルの認知症専門医師の育成を目的として設置されたプログラムです。北陸の医科系4大学（金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学）が地域医療機関、研究機関、自治体等と連携してプログラムを実施しています。

教育コースには、認知症チーム医療のリーダーとして活躍できる認知症専門医師を養成する「認知症チーム医療リーダー養成コース（本科コース）」を中心に、5つのコースを設置しています。「インテンシブコース」は、医師の方であれば全国どの地域にお住まいでも履修可能です。

なお、医師以外で認知症に関わる職種の方は別途「メディカルスタッフ e-learning 講座」にて、e-learning 講義の聴講が可能ですので、お申し込み下さい。詳細は、北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）運営事務局へお問い合わせください。

1. 募集コース

- ① 認知症チーム医療リーダー養成コース（本科コース）
（高度の知識・技能を有する認知症チーム医療リーダー医師の養成）
募集大学：【金沢大学】【富山大学】【福井大学】【金沢医科大学】
- ② 地域認知症専門医師研修コース（インテンシブ）
（地域医療機関を活動拠点とする医師の認知症専門研修）
募集大学：【金沢大学】【富山大学】【福井大学】【金沢医科大学】
- ③ 認知症・神経難病の臨床病理研修コース（スペシャル）
（認知症・神経難病の臨床・病理研修）
募集大学：【金沢大学】
- ④ 地域フィールド認知症早期発見・予防・ケア研修コース（スペシャル）
（地域フィールド研修などの特色のある領域の短期研修）
募集大学：【金沢大学】
- ⑤ 認知症スーパープロフェッショナル養成のための卒前・卒後一貫教育コース（スーパーコース）
（卒前・卒後一貫教育により高度な研究力を有する認知症スーパープロフェッショナル医の養成）
募集大学：【金沢大学】

2. 対象者

認知症に携わる医師、医学部生、医系の大学院生

3. 履修受け入れ人数

履修受け入れ人数には制限を設けていません。

4. 受講料

無料（大学生又は大学院生は、別途大学又は大学院の授業料を納付ください。）

5. 受け入れ時期

本科コース：4月又は10月、他のコース：随時

6. 申請書類

- ・北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）履修申請書（所定様式）
- ・卒業証明書（本科コース、スーパーコース申請者は不要）
※履修申請書は、申請する大学の事務担当（本要項裏面に記載）までご請求ください。
- ※上記書類を申請する大学までご郵送ください。

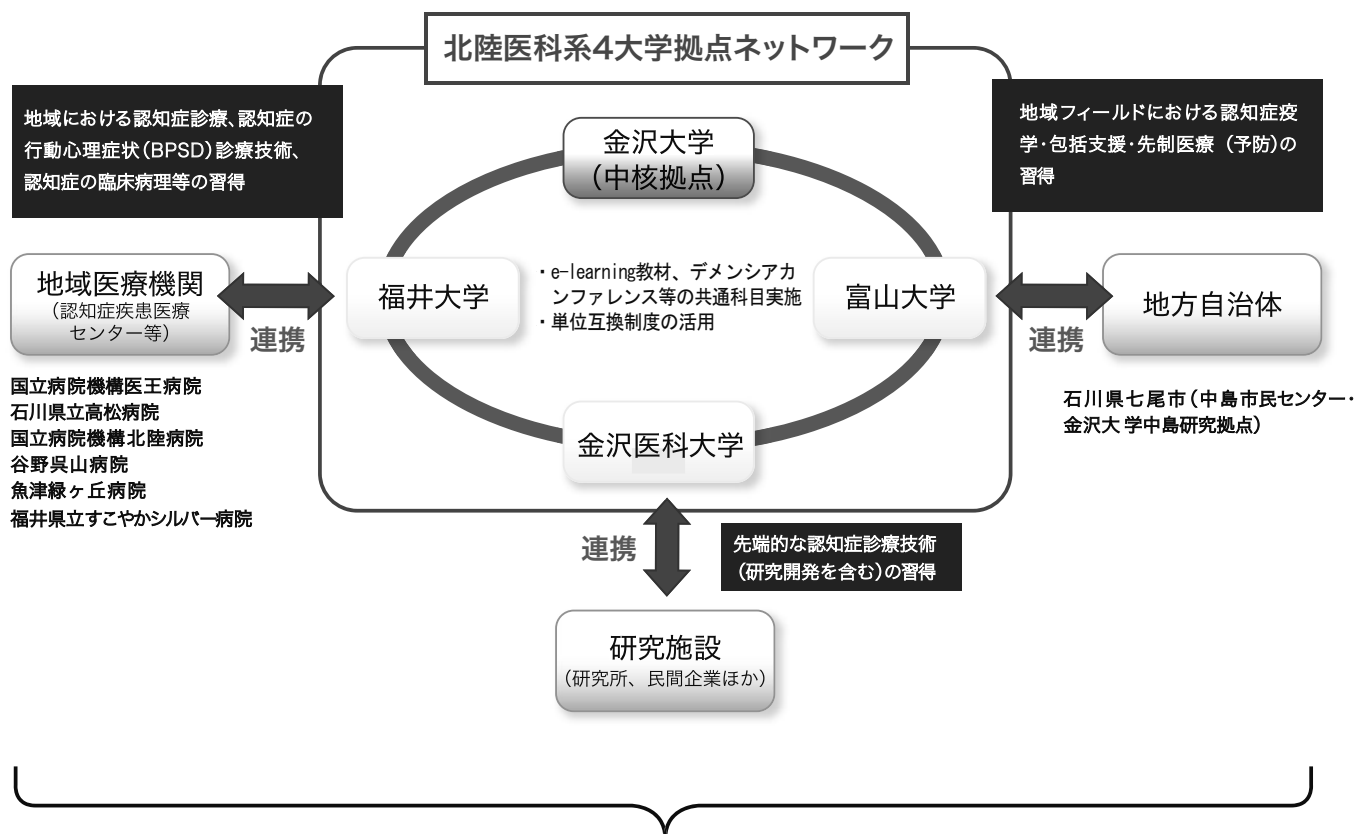
7. 修了要件

各コース修了要件の項参照

8. 修了時期

全コース 9月又は3月

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン



大学拠点間のネットワークを活用した

地域医療機関・研究施設・自治体との連携による特色のあるプログラムの設置

1. 認知症チーム医療リーダー養成コース (本科コース) (大学院生が対象、全大学に設置するメインプログラム)
2. 地域認知症専門医師研修コース (インテンシブ) (地域医療機関に勤務する医師が対象、全大学に設置)
3. 認知症・神経難病の臨床病理研修コース (スペシャル)
4. 地域フィールド認知症早期発見・予防・ケア研修コース (スペシャル)
5. 認知症スーパープロフェッショナル養成のための卒前・卒後一貫教育コース (スーパーコース)

養成する人材

認知症に関して高度な知識や技能を有し、地域における認知症診療・認知症対策のリーダーとなる認知症プロフェッショナル医師を養成する。

教育コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻
教育プログラム・コース名	認知症チーム医療リーダー養成コース（本科コース）
対象者	医薬保健学総合研究科医学専攻大学院生
修業年限（期間）	4年（早期修了には当該課程への3年以上の在籍が必要。）
養成すべき人材像	国際的視野を有し、認知症診療に関する幅広い知識・技術を有する認知症診療専門医師、認知症チーム医療のリーダー
修了要件	認知症プロフェッショナル授業科目8単位を含む30単位以上の授業科目の履修と、認知症に関する研究論文が学位審査に合格すること。
履修科目等	認知症プロフェッショナル授業科目＊（8単位以上取得が必須。e-learning 授業やデメンシアカンファレンス受講による単位認定を含む。） ＊認知症プロフェッショナル科目（4大学が協力して設置） 認プロホームページでご案内いたします。 デメンシアカンファレンス、当プログラム公認の地域における学会、セミナー、研究会等への出席、CPC への出席を含む。
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	本コースでは、地域医療機関等との連携のもとに、認知症性疾患の理解、ハイレベルの認知症診療能力育成に必須の認知症関連授業科目を履修し単位を取得し、併せて認知症関連論文を学位論文として完成させる。認知症関連授業科目の教育内容は、疾患修飾薬臨床試験（金沢大学附属病院）等の先端認知症診療技術の習得、地域（七尾市との共同で認知症地域プロジェクトを実施中）における認知症疫学・先制医療・包括支援の習得、多数の剖検を実施している神経難病専門施設（国立病院機構医王病院）との連携による神経病理学的基盤の理解、認知症専門施設（石川県立高松病院、国立病院機構北陸病院）との連携による認知症の行動心理症状（BPSD）及び重度認知症の診療技術の習得などの特色を有し、学会認定教育病院における研修を要件とする認知症専門医取得のために要求される研修内容を遥かに超えた教育内容を備えている。
指導体制	大学および連携機関に所属する認知症の各領域のエキスパートであるスタッフが、認知症の臨床、基礎、研究について直接指導する体制をとる。具体的には、金沢大学の認知症専門医師・研究者を中心に、当地域の認知症疾患医療センターである石川県立高松病院及び国立病院機構北陸病院（地域認知症・BPSD 診療）、国立病院機構医王病院〔神経難病・神経病理研修（日本神経病理学会認定施設）〕、石川県七尾市（金沢大学との連携による認知症早期発見、予防、地域包括支援）、横河電機・金沢事業所（MEG 検査）において指導にあたる。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された人材は、認知症診療に関する世界水準の知識・技能・研究力を有し、将来、医学教育機関等のスタッフや地域における認知症診療のリーダーとして認知症診療向上、認知症チーム医療推進に貢献する。
受け入れ時期	令和5年4月または10月
募集人員	2名（制限定員ではありません。）

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部生命・臨床医学専攻、生命融合科学教育部認知・情動脳科学専攻
教育プログラム・コース名	認知症チーム医療リーダー養成コース（本科コース）
対象者	医学薬学教育部生命・臨床医学専攻および生命融合科学教育部認知・情動脳科学専攻大学院生
修業年限（期間）	4年（早期修了には当該課程への3年以上の在籍が必要。）
養成すべき人材像	認知症高度診療専門医師（認知症チーム医療リーダー）
修了要件	認知症プロフェッショナル授業科目8単位を含む30単位以上の授業科目の履修と、認知症に関する研究論文が学位審査に合格すること。
履修科目等	認知症プロフェッショナル授業科目＊（8単位以上取得が必須。e-learning 授業やデメンシアカンファレンス受講による単位認定を含む。） ＊認知症プロフェッショナル科目（4大学が協力して設置） 認プロホームページでご案内いたします。 デメンシアカンファレンス、当プログラム公認の地域における学会、セミナー、研究会等への出席、CPC への出席を含む。
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	認知症の臨床研究等に精通した専門医を育成する。多職種連携教育を推進し、チーム医療の中心となる人材を育成する。
指導体制	認知症専門家であるスタッフ等が、認知症の臨床、基礎、研究について直接指導する。具体的には富山大学の医師を中心に、当地域の認知症疾患医療センターである谷野呉山病院、魚津緑ヶ丘病院および国立病院機構北陸病院とも連携して指導にあたる。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	認知症診療・教育・研究の中心となって、チーム医療リーダーとして認知症医療・医学の質の向上に貢献する。
受け入れ時期	令和5年4月または10月
募集人員	1名（制限定員ではありません。）

大学名等	福井大学大学院医学系研究科先端応用医学専攻
教育プログラム・コース名	認知症チーム医療リーダー養成コース（本科コース）
対象者	医学系研究科先端応用医学専攻大学院生
修業年限（期間）	4年（早期修了には当該課程への3年以上の在籍が必要。）
養成すべき人材像	認知症診療に携わる専門的な知識及び技能に加えて、本学の特色を活かしたPET、MRIの機能画像診断を用いた卓越した臨床研究活動が可能な医師
修了要件	認知症プロフェッショナル授業科目8単位を含む30単位以上の授業科目の履修と、認知症に関する研究論文が学位審査に合格すること。
履修科目等	認知症プロフェッショナル授業科目＊（8単位以上取得が必須。e-learning 授業やデメンシアカンファレンス受講による単位認定を含む。） ＊認知症プロフェッショナル科目（4大学が協力して設置） 認プロホームページでご案内いたします。 デメンシアカンファレンス、当プログラム公認の地域における学会、セミナー、研究会等への出席、CPC への出席を含む。
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	北陸認知症プロ養成プログラム・北陸認知症プロチーム養成基盤形成プランの科目（以下、北陸認プロ科目）を履修すると共に、本学医科学専攻の機能画像医学部門（高エネルギー医学研究センター担当）の科目を履修することにより、認知症画像診断の最先端の知識・技能を修得することを特色とする。 また認知症の早期診断・予防につながる検診事業や、かかりつけ医との連携を推進できる人材を育成する。併せて、認知症関連論文を学位論文として完成させる。
指導体制	大学院教員を中心とした直接指導、デメンシアカンファレンス等による広汎な研修を組み合わせた指導体制をとる。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	認知症診療・研究のリーダーとなる卓越した認知症専門医師が育成され、アカデミアや中核医療機関のスタッフとして活躍する。
受け入れ時期	令和5年4月または10月
募集人員	1名（制限定員ではありません。）

大学名等	金沢医科大学大学院医学研究科生命医科学専攻
教育プログラム・コース名	認知症チーム医療リーダー養成コース（本科コース）
対象者	医学研究科生命医科学専攻大学院生
修業年限（期間）	4年（早期修了には当該課程への3年以上の在籍が必要。）
養成すべき人材像	「認知症患者の視点」に立った「視野の広い、且つ高い品格」のある「認知症医療」を担うリーダーとなる専門医師を養成する。
修了要件	認知症プロフェッショナル授業科目8単位を含む30単位以上の授業科目の履修と、認知症に関する研究論文が学位審査に合格すること。
履修科目等	認知症プロフェッショナル授業科目＊（8単位以上取得が必須。e-learning 授業やデメンシアカンファレンス受講による単位認定を含む。） ＊認知症プロフェッショナル科目（4大学が協力して設置） 認プロホームページでご案内いたします。 デメンシアカンファレンス、当プログラム公認の地域における学会、セミナー、研究会等への出席、CPC への出席を含む。
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	高い臨床能力と研究能力を併せ持つ認知症専門医養成のための融合型教育システムの構築を特色とする。
指導体制	精神科、神経内科、高齢医学科の3科に所属するスタッフが、それぞれの専門性を活かした指導体制をとる。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	地域における高度の知識・技能を有する専門医師として、全人的認知症医療を行い、認知症の早期発見・都市部の専門病院との地域連携を促進する医師として活躍する。
受け入れ時期	令和5年4月
募集人員	1名（制限定員ではありません。）

大学名等	金沢大学医薬保健学総合研究科医学専攻
教育プログラム・コース名	地域認知症専門医師研修コース（インテンシブ）
対象者	地域で認知症診療に携わる医師（歯科医師を含む。）
修業年限（期間）	1 年（延長可）
養成すべき人材像	地域における認知症診療について病病連携、病診連携ができる優れた認知症診療能力を有する医師（認知症診療推進病院・協力病院・その他の病院・診療所に勤務する医師）
修了要件	1. 各地域の連携地域医療機関での認知症診療を必須とする。 2. 認知症プロフェッショナル科目 4 単位以上の取得。（デメンシアカンファレンス、e-learning 授業、当プログラム公認の学会、セミナー、研究会等への参加による単位を含む。）
履修科目等	選択科目：認知症プロフェッショナル科目（『認知症チーム医療リーダー養成コース』を参照）のうち 4 単位以上を履修する。
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	認知症疾患の病態・神経病理、認知症診断学、放射線・核医学、治療薬、BPSD 治療、地域包括支援・ケアに関して、e-learning クラウド等を利用して自己学習を行うと共に、デメンシアカンファレンスへの出席による演習を行う。また適宜、講師の派遣による出張演習も行う。 e-learning での自己学習や学会参加等での単位取得により、居住地を問わず履修が可能である。
指導体制	大学および連携機関に所属する認知症の各領域のエキスパートであるスタッフ（本科コースの指導体制を参照）が、認知症とその原因疾患の診断・治療について、e-learning やデメンシアカンファレンス等を活用して幅広く能率的に指導する。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースを修了した医師は、認知症について水準以上の知識・技能を有する医師として地域医療機関で活躍し、地域における認知症診療の均てん化、適切な連携に基づく病院機能分担の促進に貢献する。
受け入れ時期	随時
募集人員	2 名（制限定員ではありません。）

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部生命・臨床医学専攻、生命融合科学教育部認知・情動脳科学専攻
教育プログラム・コース名	地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)
対象者	地域医療機関で認知症医療に携わる医師（歯科医師を含む。）
修業年限（期間）	1年（延長可）
養成すべき人材像	地域医療機関などで認知症医療に携わる医師が、より専門性の高い教育を受けることにより、地域認知症医療の中心的役割を果たす。
修了要件	1. 各地域の連携地域医療機関での認知症診療を必須とする。 2. 認知症プロフェッショナル科目4単位以上の取得。（デメンシアカンファレンス、e-learning 授業、当プログラム公認の学会、セミナー、研究会等への参加による単位を含む。）
履修科目等	選択科目：認知症プロフェッショナル科目（『認知症チーム医療リーダー養成コース』を参照）のうち4単位以上を履修する。
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	高齢化が進む過疎地域の医療機関に勤務する医師にも受講を容易にするためのシステムを構築し、能率よく認知症に関する適切な知識や技能を身につけることが可能になる。 e-learning での自己学習や学会参加等での単位取得により、居住地を問わず履修が可能である。
指導体制	大学や地域医療機関等の認知症エキスパート医師による直接指導、e-learningおよびテレビ会議システム等を通じた指導を併用する。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了により、地域における地域全体の認知症医療の質の向上と均てん化を図るとともに、認知症医療人の地域への定着を推進する。
受け入れ時期	随時
募集人員	2名（制限定員ではありません。）

大学名等	福井大学大学院医学系研究科先端応用医学専攻
教育プログラム・コース名	地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)
対象者	地域医療機関で認知症医療に携わる医師（歯科医師を含む。）
修業年限（期間）	1年（延長可）
養成すべき人材像	地域の病院や診療所において、高水準の認知症診療、地域連携、在宅医療等を行うことができる医師
修了要件	1. 各地域の連携地域医療機関での認知症診療を必須とする。 2. 認知症プロフェッショナル科目4単位以上の取得。（デメンシアカンファレンス、e-learning 授業、当プログラム公認の学会、セミナー、研究会等への参加による単位を含む。）
履修科目等	選択科目：認知症プロフェッショナル科目（『認知症チーム医療リーダー養成コース』を参照）のうち4単位以上を履修する。
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	認知症診療の基本から、BPSD の対策、終末期医療まで、認知症の各病期に対応した、幅広い全人的医療を習得することができる。e-learning での自己学習や学会参加等での単位取得により、居住地を問わず履修が可能である。
指導体制	認知症エキスパート医師による指導、e-learning およびデメンシアカンファレンス等を通じた学習を併用する。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	地域において認知症の診療、地域連携、ケア等を適切に行うことのできる医師として活躍する。
受け入れ時期	随時
募集人員	2名（制限定員ではありません。）

大学名等	金沢医科大学大学院医学研究科生命医科学専攻
教育プログラム・コース名	地域認知症専門医師養成コース(インテンシブ)
対象者	地域医療機関で認知症医療に携わる医師（歯科医師を含む。）
修業年限（期間）	1年（延長可）
養成すべき人材像	地域医療機関で高水準の認知症診療を行うことができる医師を養成する。
修了要件	1. 各地域の連携地域医療機関での認知症診療を必須とする。 2. 認知症プロフェッショナル科目4単位以上の取得。（デメンシアカンファレンス、e-learning 授業、当プログラム公認の学会、セミナー、研究会等への参加による単位を含む。）
履修科目等	選択科目：認知症プロフェッショナル科目（『認知症チーム医療リーダー養成コース』を参照）のうち4単位以上を履修する。
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	ICTの活用とスクーリングによる各特論の受講と、テレビ会議システム活用によりデメンシアカンファレンス参加や各演習科目の履修を行い、効率的な学習を可能とする。 e-learning での自己学習や学会参加等での単位取得により、居住地を問わず履修が可能である。
指導体制	認知症エキスパート医師による指導、e-learning およびデメンシアカンファレンスシステム等を通じた学習を併用する。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	コース修了後、大学病院等と緊密な連携をとって地域における認知症診療を向上させていくことができる「認知症プロフェッショナル医」として活躍する。
受け入れ時期	随時
募集人員	2名（制限定員ではありません。）

大学名等	金沢大学医薬保健学総合研究科医学専攻 (国立病院機構医王病院と連携)	
教育プログラム・コース名	認知症・神経難病の臨床病理研修コース（スペシャル）	
対象者	医薬保健学総合研究科医学専攻（社会人）大学院生（平成27年度以前の入学者は、脳医科学専攻）ほか	
修業年限（期間）	1年（延長可）	
養成すべき人材像	認知症・神経難病の臨床神経病理の基礎を身につけた専門医師	
修了要件	認知症・神経難病の臨床神経病理に関わる科目等（下記）を4単位以上の履修	
履修科目等	認知症・神経難病の臨床病理実習：国立病院機構医王病院における臨床・神経病理実習（3単位・90時間）（必修） 認知症プロフェッショナル科目『認知症チーム医療リーダー養成コース』を参照）について、デメンシアカンファレンス、当プログラム公認の地域での学会、セミナー、研究会等への参加、e-learning授業等に参加。（1単位以上の取得を義務づける。）	
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	本コースにおいては、社会人大大学院生として国立病院機構医王病院における実習（臨床・神経病理研修）を義務化し、認知症の原因となる神経難病の臨床及び神経病理（分子病態を含む）を習得するために必要な教育を行う。国立病院機構医王病院・臨床研究部では認知症疾患を含む神経難病の剖検の実績があり、剖検率は約50%である。	
指導体制	認知症・神経難病の臨床（日本神経学会及び認知症学会の専門医）及び神経病理の専門家（日本神経病理学会の評議員で学会認定施設である金沢大学、医王病院に所属）が指導者として、直接指導にあたる。	
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	コース修了後、神経難病・認知症の臨床病理の基礎を身につけた専門家として認知症の臨床現場のリーダー（認知症・神経難病の専門医師）あるいは大学や研究機関の研究者として活躍する。	
受け入れ時期	随時	
募集人員	大学院生又は 地域医療機関等に勤務する医師	1名（制限定員ではありません。）

大学名等	金沢大学医薬保健学総合研究科医学専攻	
教育プログラム・コース名	地域フィールド認知症早期発見・予防・ケア研修コース（スペシャル）	
対象者	医薬保健学総合研究科医学専攻大学院生（平成27年度以前の入学者は、脳医科学専攻）ほか	
修業年限（期間）	1年（延長可）	
養成すべき人材像	地域フィールドにおいて認知症疫学、早期発見、予防、ケア等に関する幅広い知識・技能を有する専門医師	
修了要件	認知症疫学・予防・ケア等に関わる科目等（下記）を4単位以上履修	
履修科目等	地域認知症疫学・予防・ケア実習（3単位・90時間）（必修） 認知症プロフェッショナル科目（『認知症チーム医療リーダー養成コース』を参照）について、デメンシアカンファレンス、当プログラム公認の地域での学会、セミナー、研究会等への参加、e-learning授業等に参加。（1単位以上の取得を義務づける。）	
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	金沢大学は七尾市との連携により七尾市中島町をフィールドとする認知症地域プロジェクト（なかじまプロジェクト）の実績があり、七尾市中島市民センターに金沢大学中島研究拠点を設置している。本コースは、中島町を地域フィールドとして認知症調査、予防、認知症ケア・包括支援等に関する実習を行う独自のプログラムである。	
指導体制	金沢大学において当該地域フィールド認知症研究を行っている教員（金沢大学革新予防医科学共同大学院において認知症先制医療学を担当予定の教員を含む。）、保健師等の地域自治体職員、当該地域の医療機関スタッフ等が一体となって実習指導にあたる。	
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースの修了者は、認知症診療ばかりでなく、地域で急増する認知症に対する対策の立案（予防介入実践、認知症になっても笑顔で暮らせる地域など）等の幅広い領域で活躍する認知症プロフェッショナル医師となる素地をつくることことができる。	
受け入れ時期	随時	
募集人員	大学院生又は 地域医療機関等に勤務する医師	1名（制限定員ではありません。）

大学名等	金沢大学医薬保健学総合研究科医学専攻
教育プログラム・コース名	認知症スーパープロフェッショナル養成のための卒前・卒後一貫教育コース（スーパーコース）
対象者	金沢大学医薬保健学域医学類学生～医薬保健学総合研究科医学専攻大学院生の一貫コース
修業年限（期間）	4年以上（医学類在学）+4年（大学院在学・早期修了には当該課程への3年以上の在籍が必要。）
養成すべき人材像	高度の認知症診療力ばかりでなく、国際的に活躍できる研究能力を有する認知症専門医師
修了要件	卒前研究（Medical Research Training (MRT) プログラム等）及び大学院課程による。（MD-PhD コースを含む。）大学院では認知症プロフェッショナル授業科目10単位を含む30単位以上の授業科目の履修と、認知症に関係する研究論文が学位審査に合格すること。
履修科目等	卒前：MRT プログラム等における認知症関連研究（必修） 卒後：認知症プロフェッショナル授業科目＊（10単位以上取得が必須。e-learning 授業やデメンシアカンファレンス受講による単位認定を含む。） ＊認知症プロフェッショナル科目：認知症チーム医療リーダー養成コース（本科コース）の記述を参照。
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	卒前の MRT プログラム（金沢大学医薬保健学域医学類学生のためのリサーチプログラム）や MD-PhD コースにおいて、認知症に関する研究マインドを植付け、基礎から臨床までの幅広い研究活動[試験管内研究やモデル動物を用いた基礎研究から、神経病理学的研究、臨床研究、モデル地域における疫学研究や予防介入研究（なかじまプロジェクト）]に従事し、卒後臨床研修期間中も研究を継続できる、高い認知症研究能力を有する認知症スーパープロフェッショナル医養成のための卒前・卒後一貫教育コースであり、認知症に関する高度かつ広範囲な領域をカバーする独自のプログラムである。
指導体制	大学、地域医療機関、研究機関、地域自治体等において、大学教員が中心となって、学類学生～初期研修～大学院生に渡る一貫した指導体制をとる。（本科コースの指導体制を参照。）その間、必要に応じ短期海外留学を行い、国際一流学術誌に論文が掲載されるよう指導する。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	国際的に活躍する認知症専門家、研究者として、アカデミアを中心として活躍し、21世紀の超高齢化社会における認知症医療・医学を指導する立場となる。
受け入れ時期	医学類1年次の4月～医学類3年次の4月
募集人員	1名（制限定員ではありません。）

各大学事務担当



【金沢大学】

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）運営事務局

〒920-8640 石川県金沢市宝町 13 番 1 号 金沢大学医薬保健学域医学類B棟2階
e-mail ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp



【富山大学】

医薬系学務課大学院教務チーム

〒930-0194 富山県富山市杉谷 2630 番地
e-mail mpin@adm.u-toyama.ac.jp



【福井大学】

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）福井事務局

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23 番 3 号
e-mail n-pro@ml.u-fukui.ac.jp



【金沢医科大学】

金沢医科大学教学課（大学院医学研究科担当）

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1 丁目 1 番地
e-mail d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp